

「ガーナ共和国を応援しよう！」

猪苗代町が東京オリンピック・パラリンピック競技大会においてガーナ共和国のホストタウンに選出されたことを受け、町内の小中学校、高校とともに交流事業を展開しています。本校では、令和2年10月～11月にかけて「花アート」「応援メッセージ」「国歌の歌唱」の3つの交流事業に参加しました。



花アート



猪苗代町出身の写真家野口勝宏さんが撮影した「福島の花」を使ったアートの制作を行いました。児童生徒は、カラフルな花のシールの中から好きな花を選び、磐梯山や猪苗代湖がデザインされた大型台紙に一枚一枚貼り付けました。完成したアートは、「ウォールアートフェスティバルふくしまin猪苗代2020」に出品されました。



応援メッセージ



英語で書かれたメッセージボードを掲げたり、応援の気持ちを伝えたりする動画を撮影しました。笑顔で手を振る姿や、心のこもったメッセージがガーナ共和国の選手の皆さんに届くことを楽しみにしています。



ガーナ共和国国歌の歌唱

音楽や外国語の授業で英語の歌詞を学習し、曲を何度も聴きながら練習しました。楽器を担当した小学部児童もいつの間にか歌を覚えて、みんなで大きな声で歌うことができました。さらに、曲に合わせて3色の布を動かす演技も加わり、最後にガーナ共和国の国旗を作って完成です。みんなの心がひとつになりました。

